

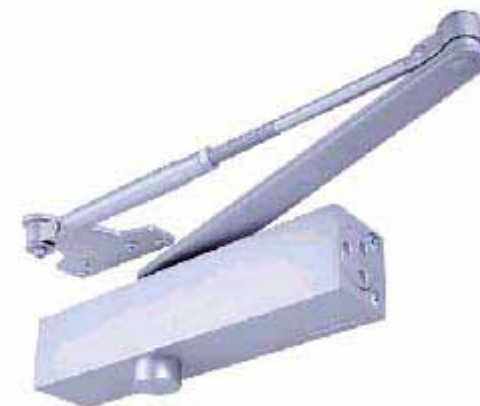


2004年3月期 中間決算説明資料



RYOBI

2003年11月



当資料には、当社の計画・戦略・業績等の将来予想に関する情報が含まれています。

これらの記載は、現在入手可能な情報に基づいて当社が判断したものであり、これには、リスクおよび不確実な要素が含まれています。

当社の実際の行為、業績は、経済情勢、事業環境、需要動向、為替動向等により、将来予想とは大きく異なる可能性があります。

経営健全化計画の概況

経営健全化計画（'00/3/29発表）の概要

ダイカスト事業・印刷機器事業などへ経営資源を可能な限り集中し、高収益体質を構築する。

事業の見直し

- ・北米電動工具事業の売却
- ・北米以外の電動工具事業の見直し
- ・釣具事業の見直し

資産売却

- ・北米園芸用機器事業の売却
- ・東京本社の土地・建物の売却
- ・有価証券の売却

2004/3期迄の計画(数値目標)

事業別の具体的な施策

ダイカスト事業

- ・世界トップクラスの専門メーカーとして日米欧3極での生産体制を確立
- ・電機・通信など自動車以外の分野へ積極的な拡販
- ・軽量化、リサイクルなど環境への積極的な取り組み

印刷機器事業

- ・新商品の開発力、生産力、販売力の強化
- ・IT化、デジタル化への対応
- ・小型印刷機から中型印刷機への事業分野の拡大
- ・プリプレスからプレスまでを提供するトータルプリンティングシステムの充実

住建機器事業(電動工具、園芸用機器、建築用品)

- ・不採算な分野については譲渡も含めての抜本的な見直し
- ・グループ会社の管理の強化、組織のスリム化等による固定費の圧縮
- ・中国の製造子会社への生産移管を加速し、コスト競争力のある生産体制の構築

経営健全化計画の実施状況

北米電動工具事業を'00/8に営業譲渡

北米園芸用機器事業を'00/6に営業譲渡

北米以外の電動工具事業の見直し

'01/3 国内電動工具販売子会社支援のため、増資及び債権放棄

'01/8 欧州2電動工具販売子会社(イギリス・フランス)を株式譲渡

'02/3 オセアニア2電動工具販売子会社(オーストラリア・ニュージーランド)を株式譲渡

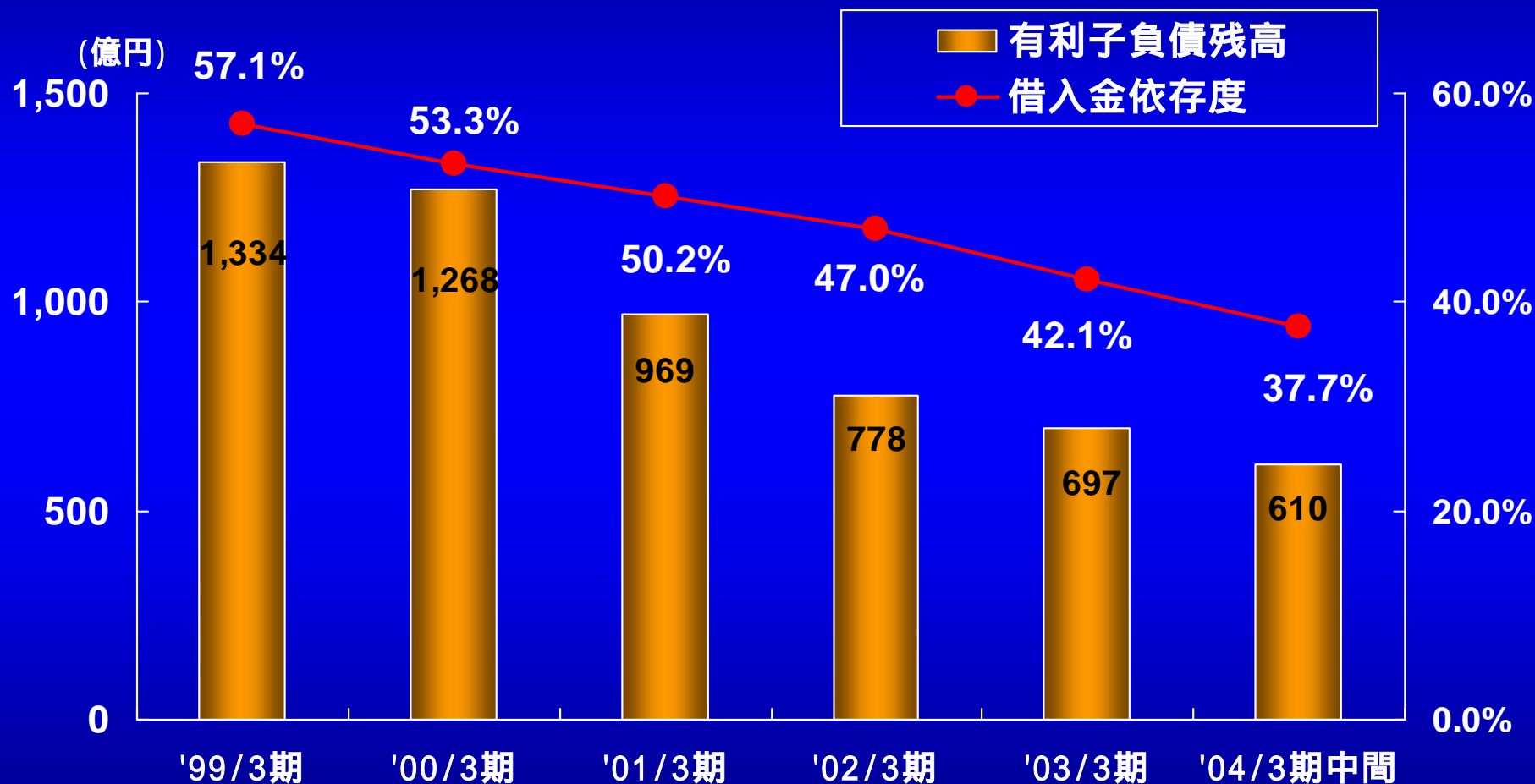
釣具事業を'00/9に営業譲渡

スポーツ用品の製造・販売を'02/5末で終結

'00/3期～ 02/3期 資産売却

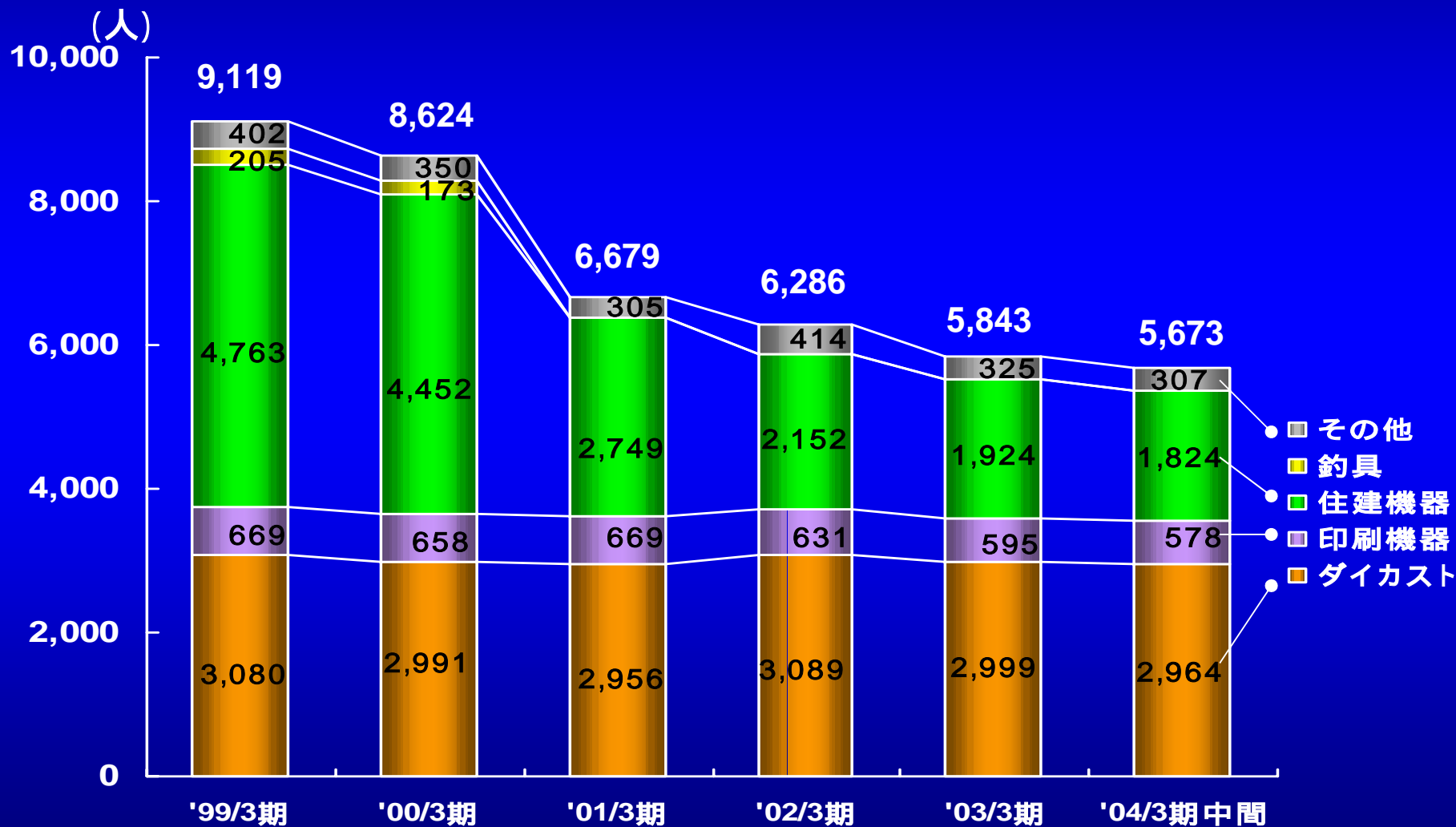
東京本社(23億円)、遊休不動産等(8億円)、
上場株式(66億円)

有利子負債・借入金依存度の推移

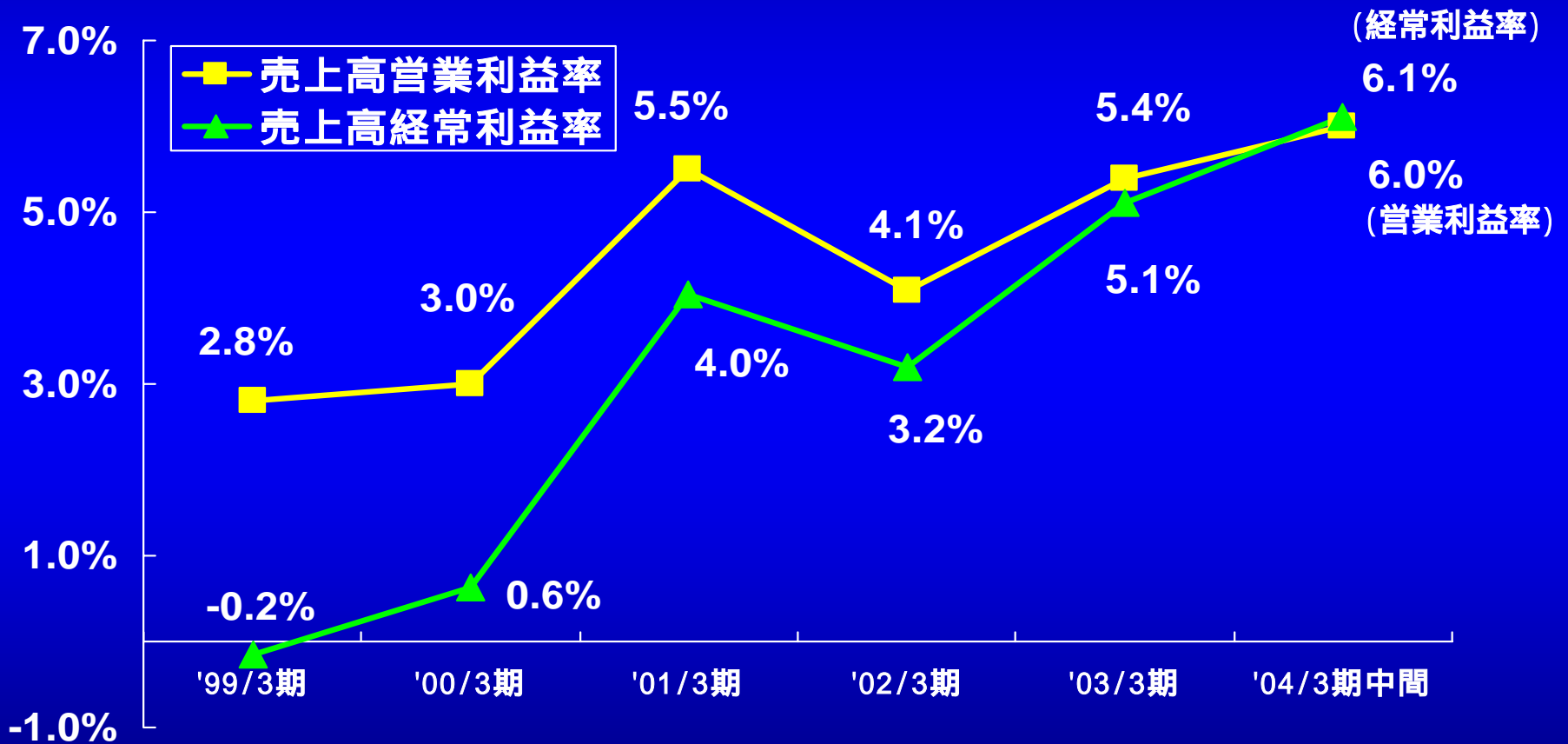


注) 借入金依存度(有利子負債 / 総資産)は期末残高ベースで算出

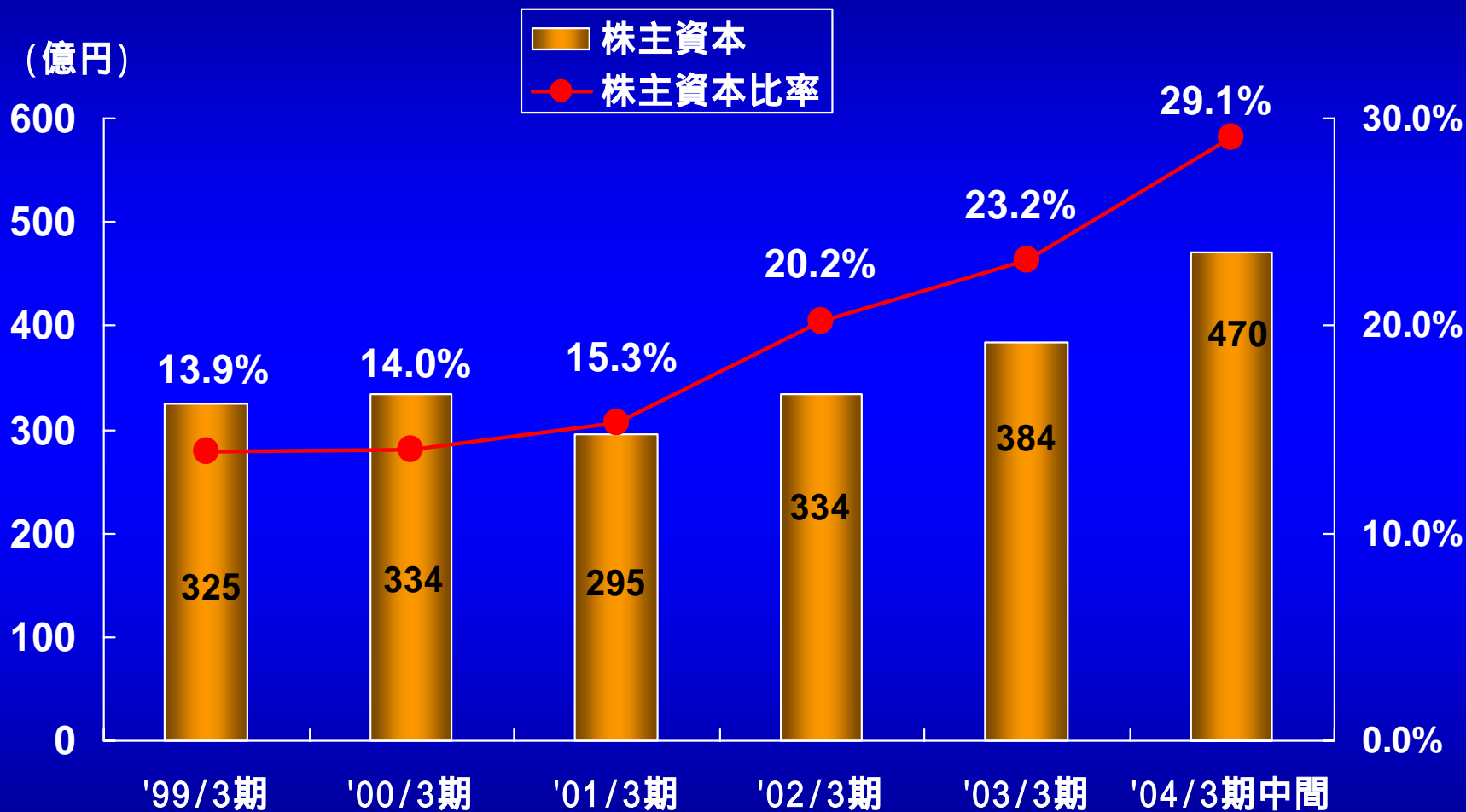
人員の推移



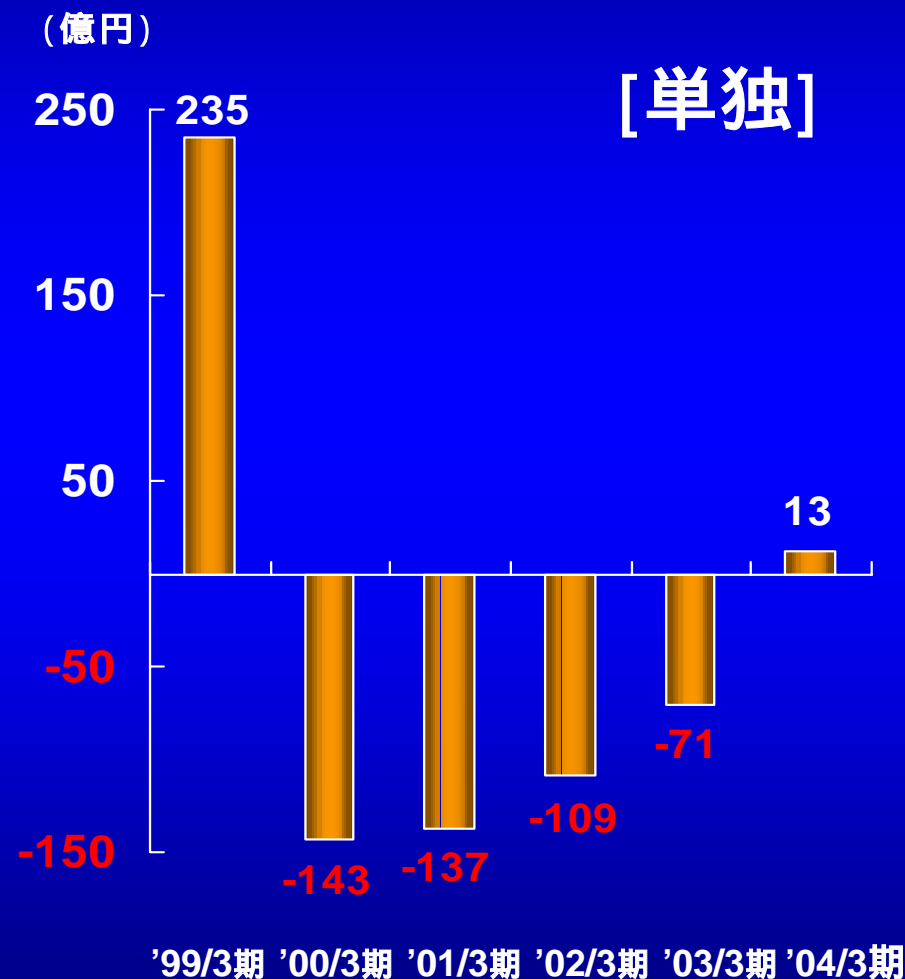
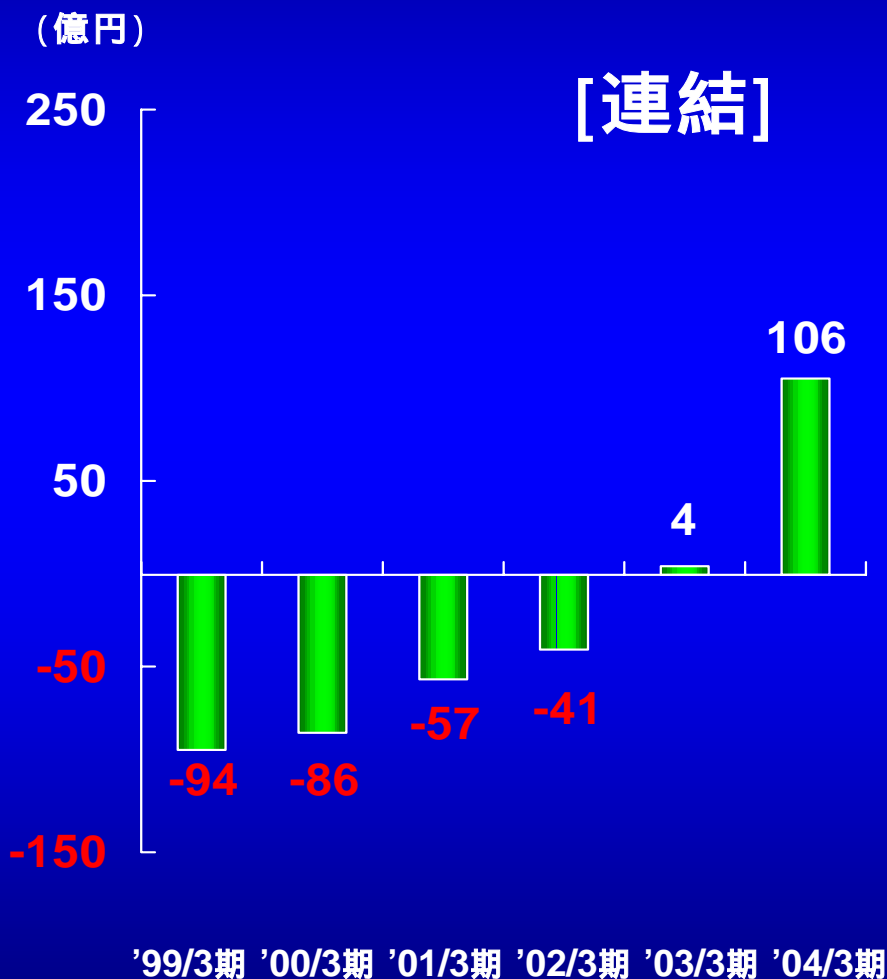
売上高営業利益率・経常利益率の推移



株主資本と株主資本比率の推移



連結・単独 利益剰余金の推移



中間

中間

中間決算の概況

中間連結損益要約

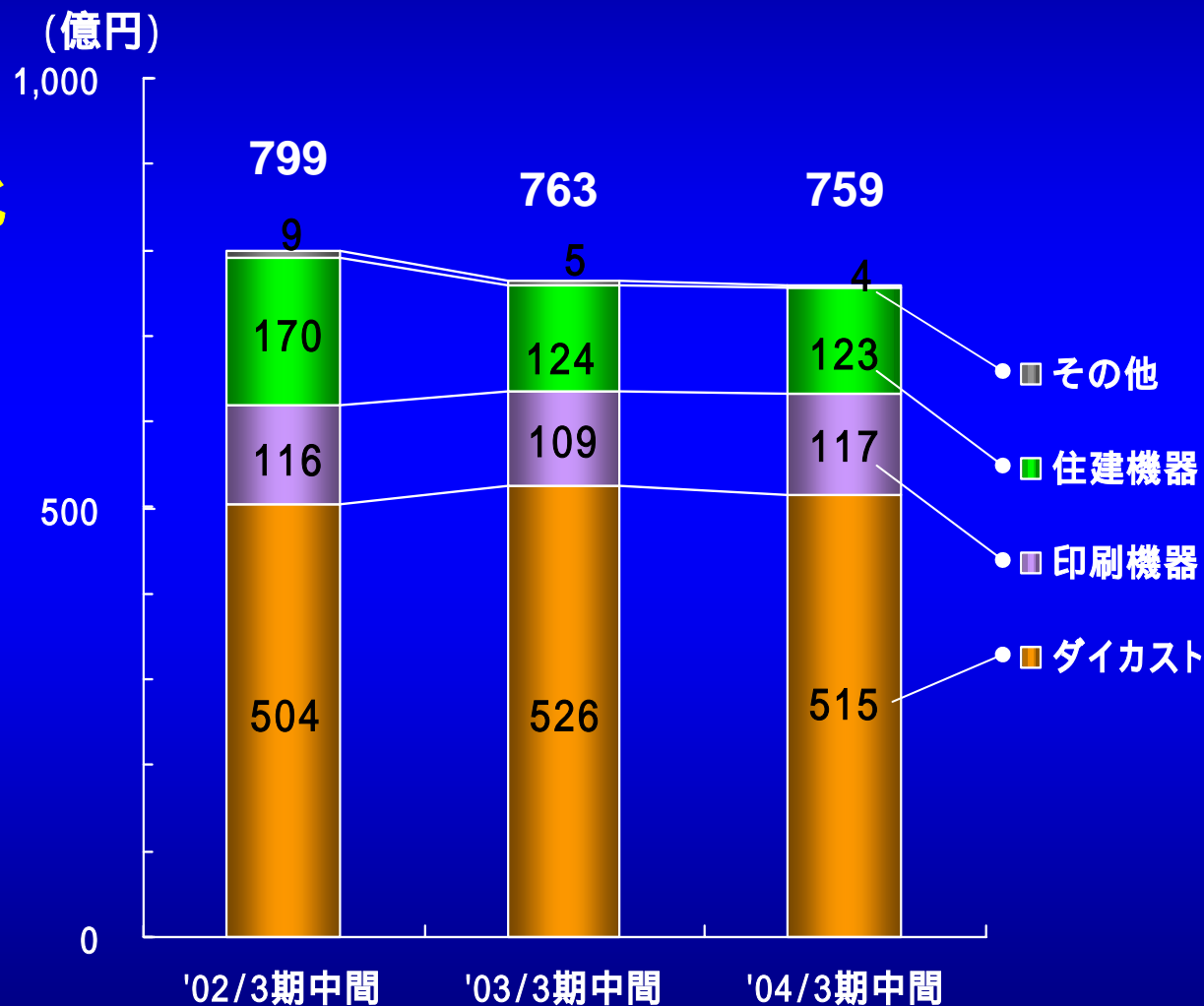
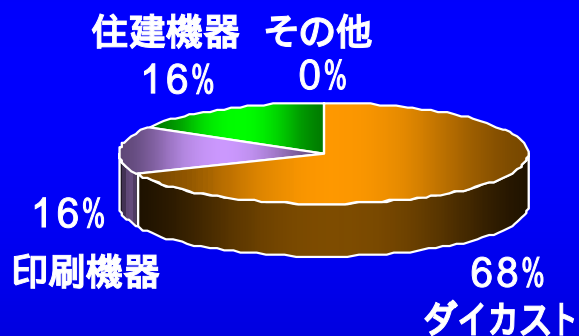
(億円)

	'03/3 期中間 (実績)	'04/3 期中間 (実績)	-
売上高	763	759	4
営業利益 (売上高比)	35 (4.6%)	46 (6.0%)	+10
経常利益 (売上高比)	31 (4.0%)	46 (6.1%)	+15
中間(当期)純利益 (売上高比)	13 (1.7%)	102* (13.4%)	+89

* 過去最高益

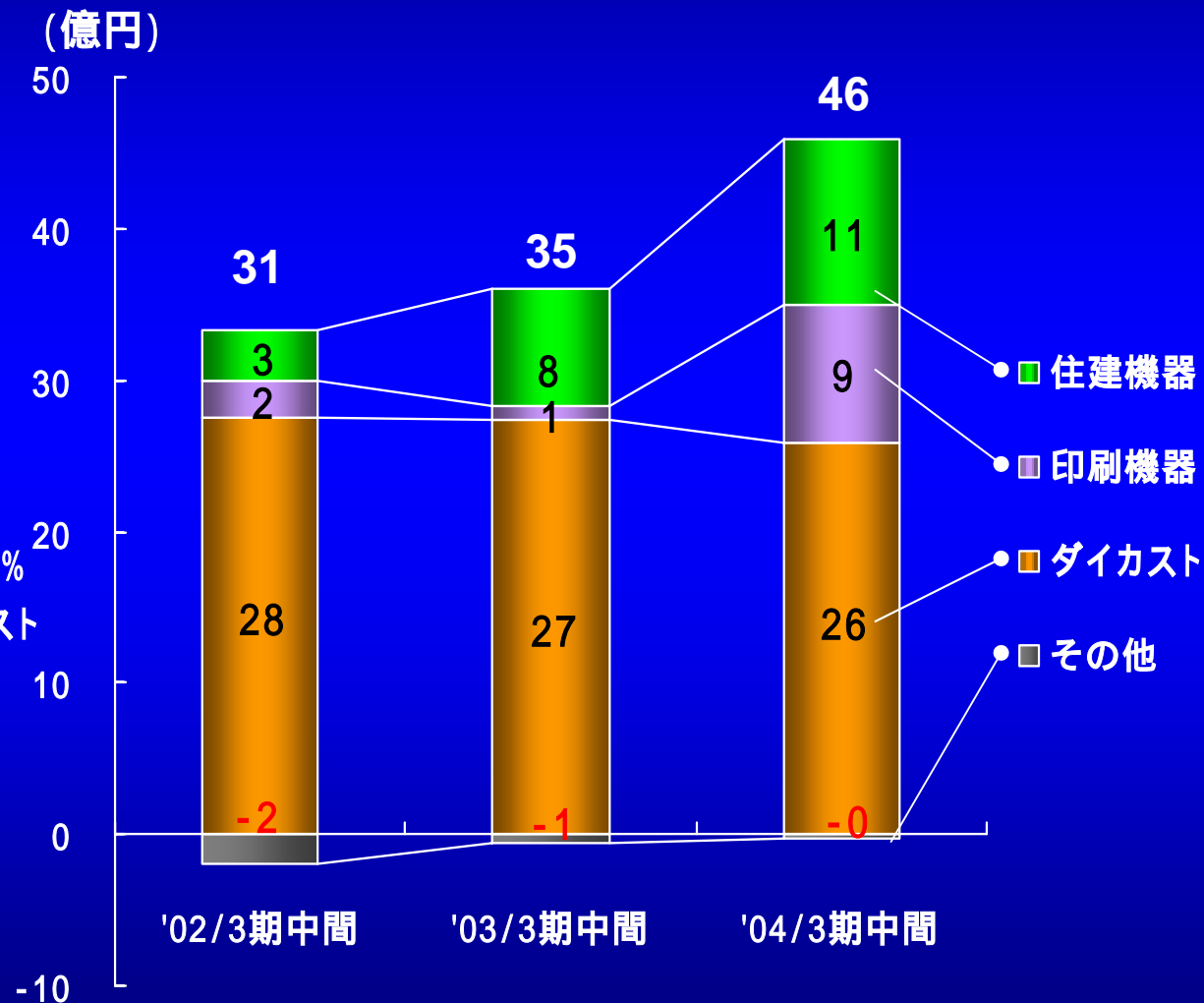
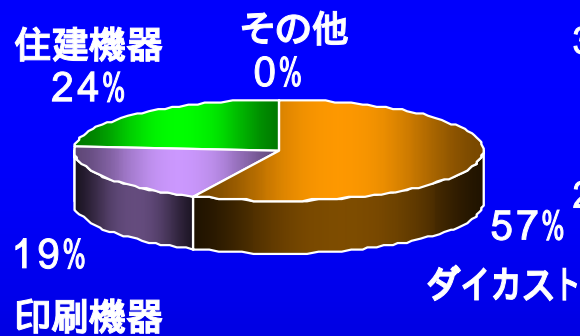
売上高 [事業別]

'04/3期中間 構成比



営業利益 [事業別]

'04/3期中間 構成比



売上高・営業利益の増減要因

ダイカスト

トラックメーカー向けなど国内での売上高は増加したが、円高(対US\$)による為替換算の影響もあり、米国自動車メーカー向け売上高が減少した。自動車メーカーからのプライスダウン要請が厳しく、コストダウンを進めているが、利益は減少。

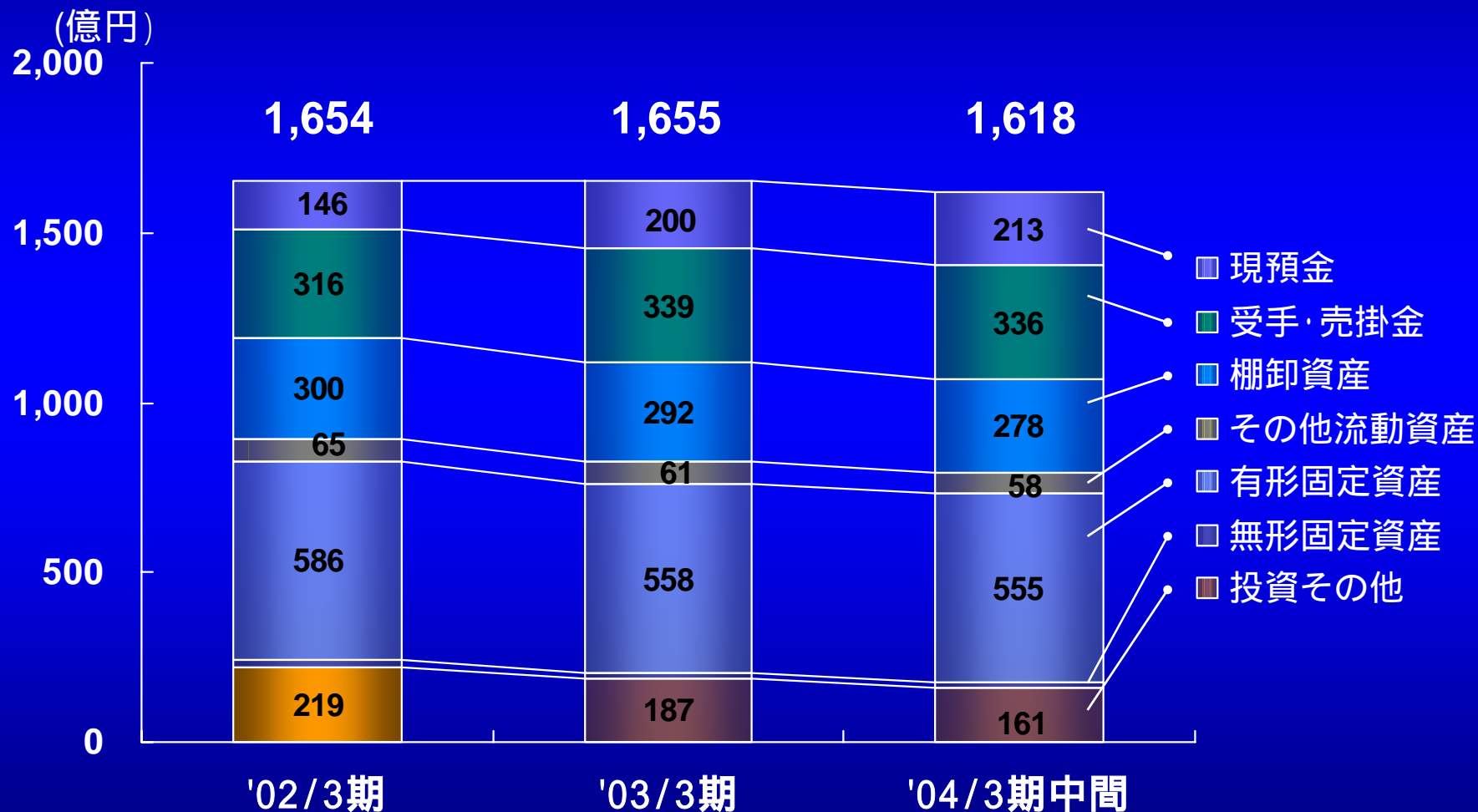
印刷機器

国内販売・輸出ともに伸ばし、特に中型印刷機の売上高が増加。売上高増加と生産リードタイムの短縮などのコストダウンで、利益額・利益率ともに大幅に改善。

住建機器

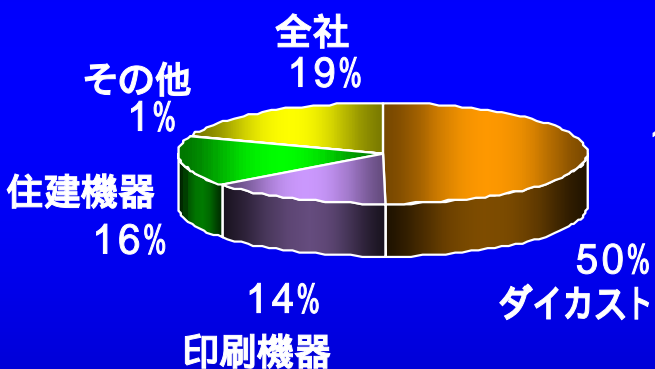
国内の新設住宅着工戸数の低迷などにより、売上高はほぼ横ばい。コストダウン、生産・販売効率の向上などにより利益は増加。

資産 [科目別]



資産 [事業別]

'04/3期中間 構成比



(億円)

2,000

1,500

1,000

500

0

1,654

1,655

1,618

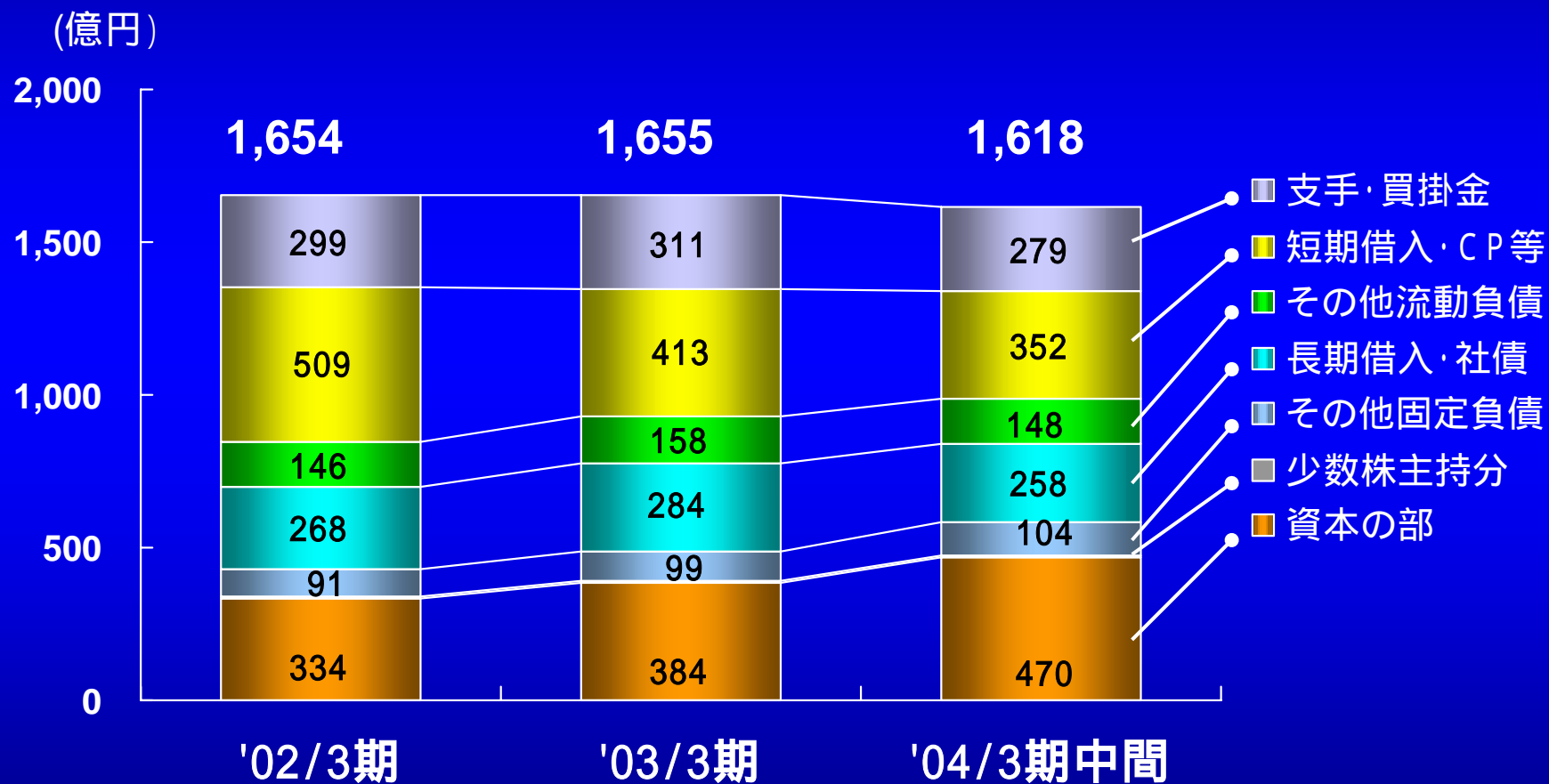


'02/3期

'03/3期

'04/3期中間

負債・資本 [科目別]



自己株式の取得

経営環境の変化に対応した機動的な資本政策の実行を可能にする。

(取得枠) ・取得総数 4,000千株 (上限)

・取得価額総額 1,200百万円 (上限)

(03年6月27日開催の定時株主総会決議)

(当中間期の買付け)

・買付け株式数 1,000千株

・買付け総額 242,155千円

(当中間期末までの買付け累計)

・買付け株式数累計 3,515千株

・買付け総額累計 638,368千円

キャッシュフロー

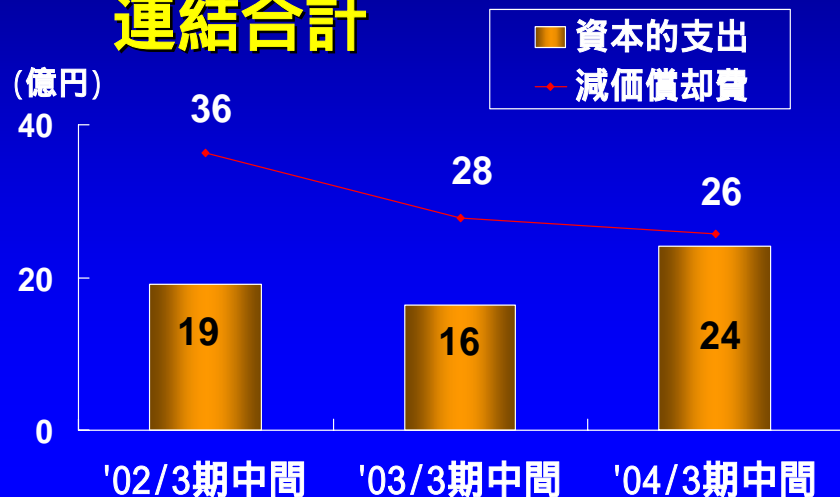
(億円)

	'03/3 期中間 (実績)	'04/3 期中間 (実績)	
営業活動によるキャッシュフロー	42	46	+3
投資活動によるキャッシュフロー	12	69	+81
財務活動によるキャッシュフロー	33	91	58
現金及び現金同等物増減	4	23	+27

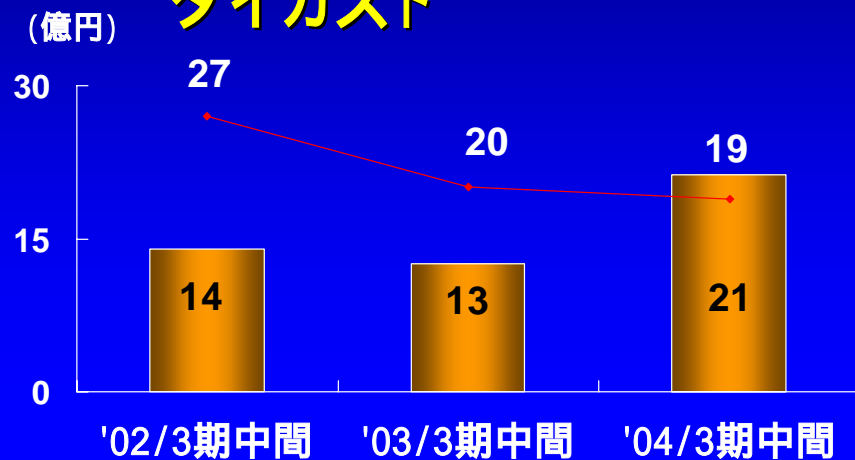
'04/3期中間の営業キャッシュフロー46億円の中には、債権流動化の減額によるキャッシュフローの減少額の28億円を含んでいる。

資本的支出と減価償却費

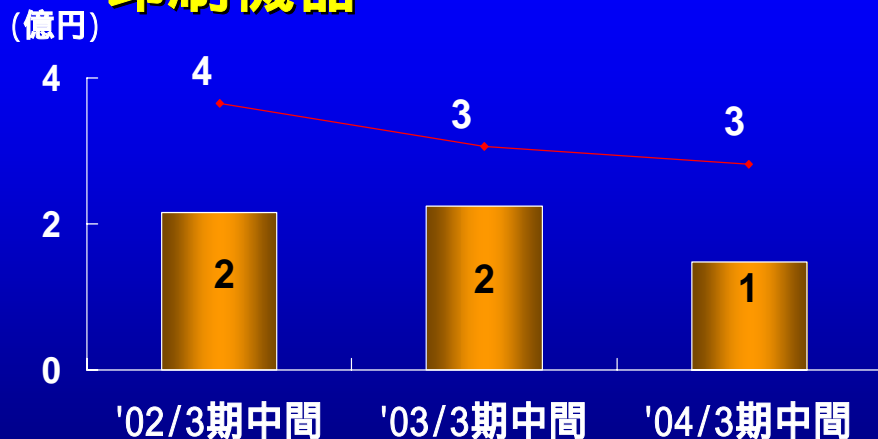
連結合計



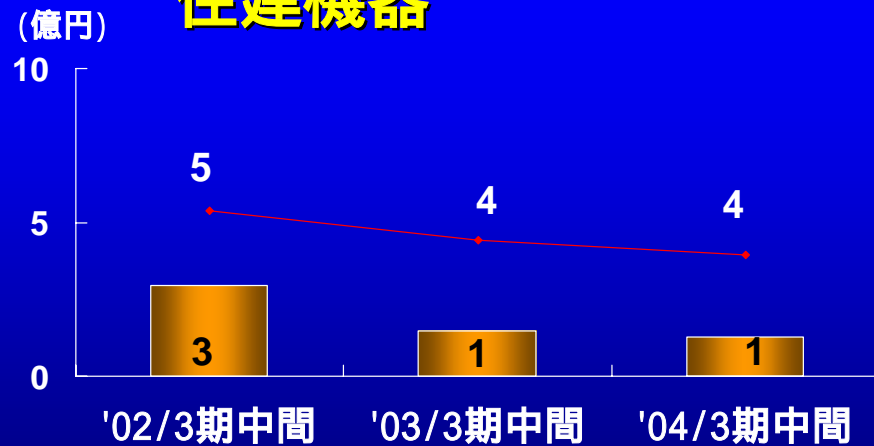
ダイカスト



印刷機器



住建機器



中間単独決算の概況

(億円)

	'03/3 期中間 (実績)	'04/3 期中間 (実績)	-
売上高	508	509	+1
営業利益 (売上高比)	21 (4.2%)	23 (4.5%)	+2
経常利益 (売上高比)	23 (4.5%)	26 (5.2%)	+4
中間(当期)純利益 (売上高比)	13 (2.5%)	83 * (16.4%)	+71
	'03/3 期末 (実績)	'04/3 期中間 (実績)	-
総資産	1,242	1,224	17
利益剰余金	71	13	+83
有利子負債	530	458	72

* 過去最高益

通期予想と主な取組み

連結業績予想

(億円)

	'02/3 期 (実績)	'03/3 期 (実績)	'04/3 期 (予想)	-
売上高	1,561	1,565	1,525	40
営業利益 (売上高比)	64 (4.1%)	85 (5.4%)	87 (5.7%)	+2
経常利益 (売上高比)	50 (3.2%)	80 (5.1%)	86 * (5.6%)	+6
当期純利益 (売上高比)	21 (1.3%)	45 (2.9%)	114 * (7.5%)	+69

* 過去最高益

'04/3期下半期 為替レート US\$=115円 1-円 = 130円

連結売上高・営業利益予想 [事業別]

(億円)

	売上高				営業利益		
	'02/3 期 (実績)	'03/3 期 (実績)	'04/3 期 (予想)	-	'02/3 期 (実績)	'03/3 期 (実績)	'04/3 期 (前期比予想)
ダイカスト	991	1,078	1,036	42	55 5.6%	57 5.3%	微減
印刷機器	227	227	240	+13	6 2.8%	13 5.7%	増加
住建機器	328	251	242	9	6 1.7%	16 6.3%	横ばい
その他	15	9	7	2	3 21.8%	1 9.8%	

注) 下段は売上高営業利益率

連結売上高予想 [地域別]

(億円)

	'02/3 期 (実績)	'03/3 期 (実績)	'04/3 期 (予想)	-
売上高合計	1,561	1,565	1,525	40
日 本	1,039	1,100	1,097	3
海 外	522	465	428	37
北 米	265	291	248	43
ヨーロッパ	156	126	127	+1
その他	101	48	53	+5

売上高・利益予想の増減要因

[売上高]

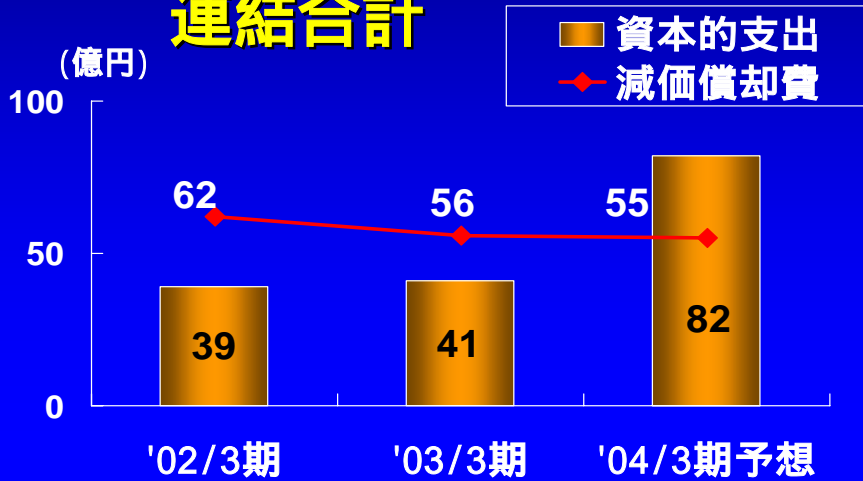
- ・印刷機器事業が増加するが、ダイカスト事業は、日米の自動車向けが高い伸びをみせた前下半期ほどの伸びを見込めず、若干減少することなどから、全体としては微減となる見通し(円高(対US\$)による為替換算の影響もある)。

[利益]

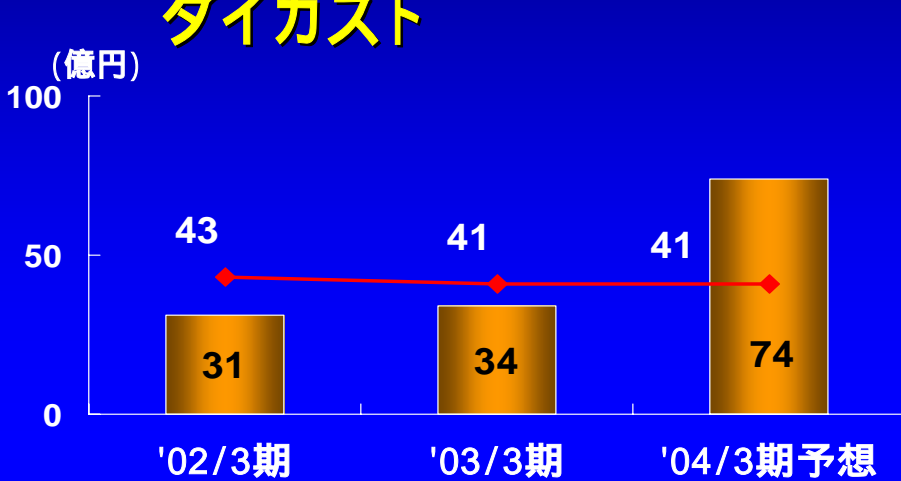
- ・前期比の減収幅は中間期より増加するものの、コスト削減、生産性向上などにより営業利益、経常利益とも増益となる見通し。
- ・当期純利益は減損会計の早期適用などによる特別損失(6億円)を計上するが、保有有価証券売却の特別利益(82億円)があり、通期でも大幅な増益となる見通し。
- ・経常利益、当期純利益は過去最高。

資本的支出と減価償却費の予想

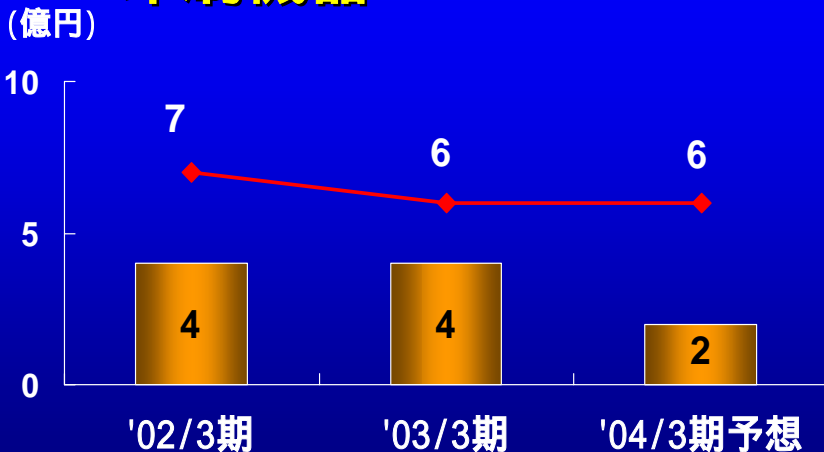
連結合計



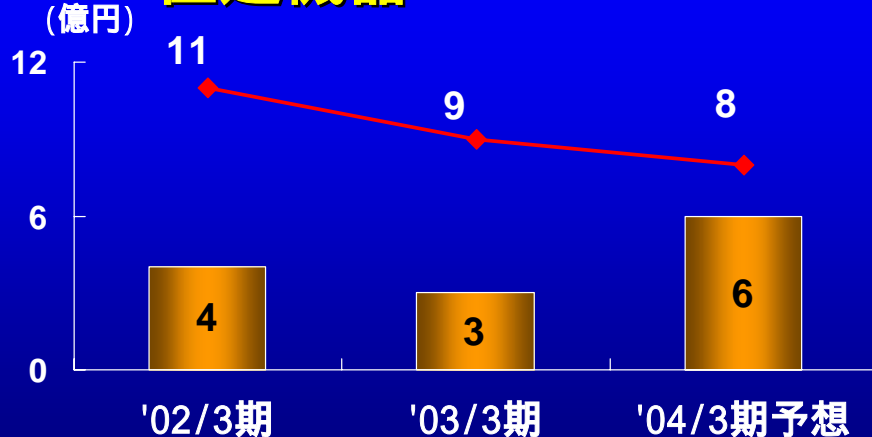
ダイカスト



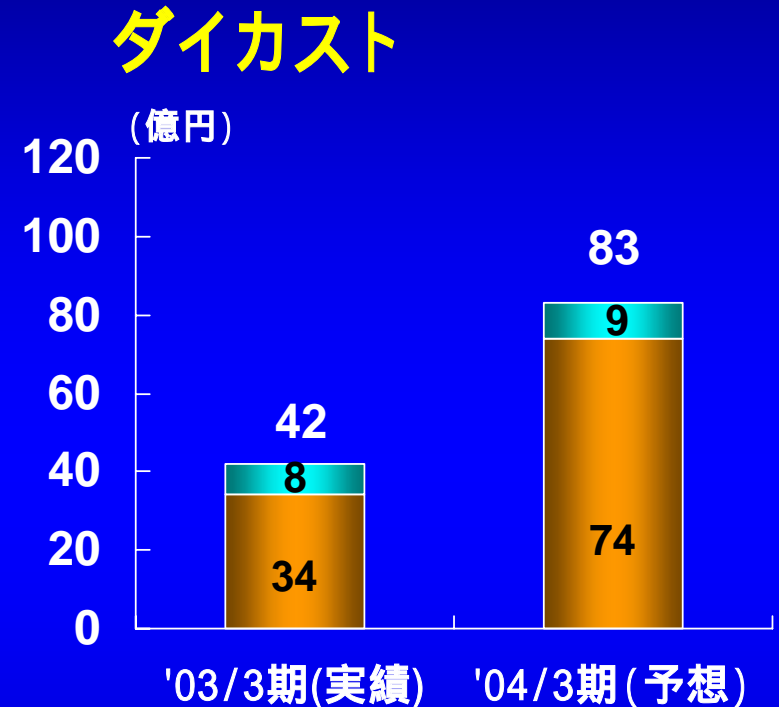
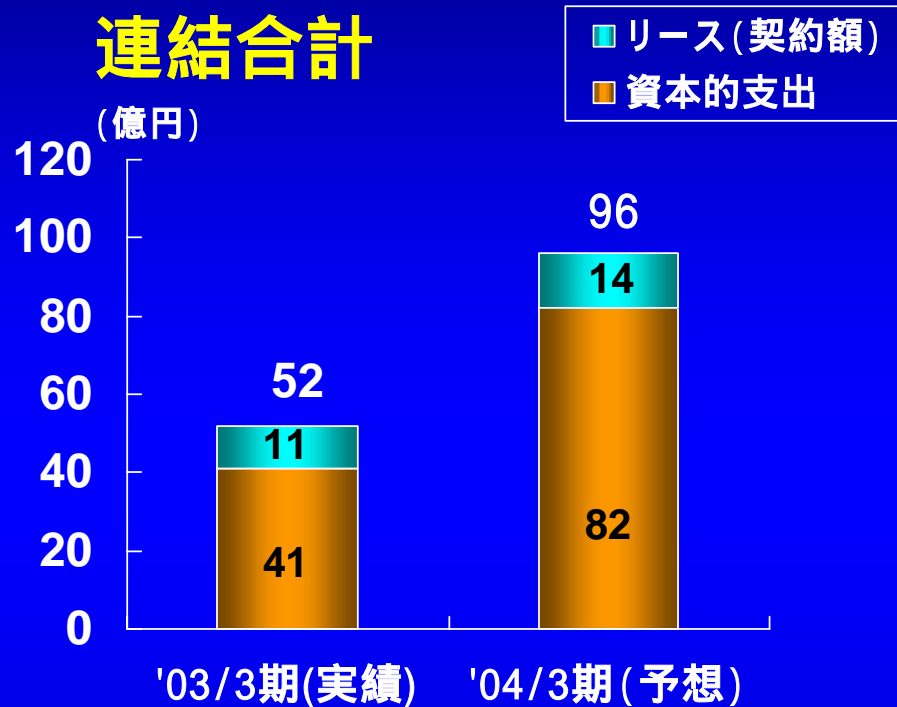
印刷機器



住建機器



設備投資(資本的支出・リース)予想



< 投資増の理由 >

- ・大規模受注、加工付納入等に対応するため、加工設備、ダイカストマシン等の設備投資を増強
- ・投資に対する収益は、'05 / 3期以降漸増する見込み

单独業績予想

(億円)

	'02/3 期 (実績)	'03/3 期 (実績)	'04/3 期 (予想)	-
売上高	1,016	1,062	1,050	12
営業利益 (売上高比)	48 (4.7%)	56 (5.2%)	53 (5.0%)	3
経常利益 (売上高比)	47 (4.7%)	57 (5.4%)	57 (5.4%)	0
当期純利益 (売上高比)	28 (2.8%)	38 (3.6%)	86 * (8.2%)	+48

* 過去最高益

主な取組み

ダイカスト事業

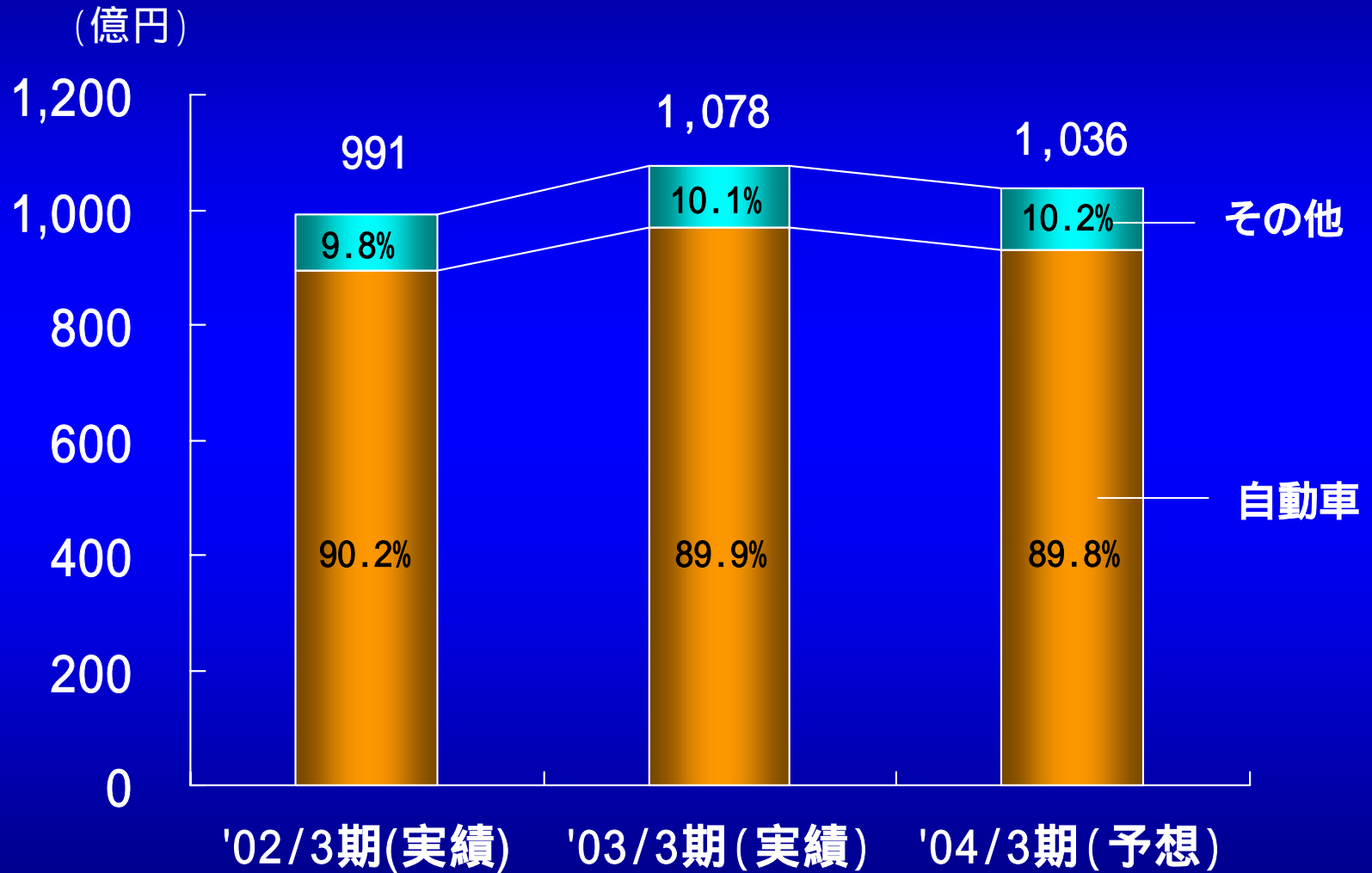
受注・売上高の拡大

- ・ 高品質・高付加価値製品の開発、技術開発力の強化
- ・ 顧客対応力の強化
 - 日米欧3極体制による機動力の発揮
 - 提案型営業の強化(ゲストエンジニア等)
- ・ アルミダイカストは省エネルギー、省資源など環境保全に有効な技術として注目

低コスト化の推進

- ・ 販売・製造(国内外グループ)一体となった生産性の向上
- ・ コストダウン(品質・生産技術向上等)

得意先業種別売上高



主な取組み

ダイカスト事業

自動車関連分野

- 車体軽量化に対応する技術力強化 -
- ・ エンジン、ミッション部品の新規開発
- ・ 車体フレーム、足廻り部品のアルミダイカスト化の促進
(高靱性合金開発、高真空・超高速技術等)
- ・ 受注の大ロット化、加工付ニーズへの対応力強化

ダイカスト製品 <自動車関連>



トランスミッション

ダイカスト製品 <自動車関連>



二輪車用フレーム



スーパーチャージャー用
M/Fローター

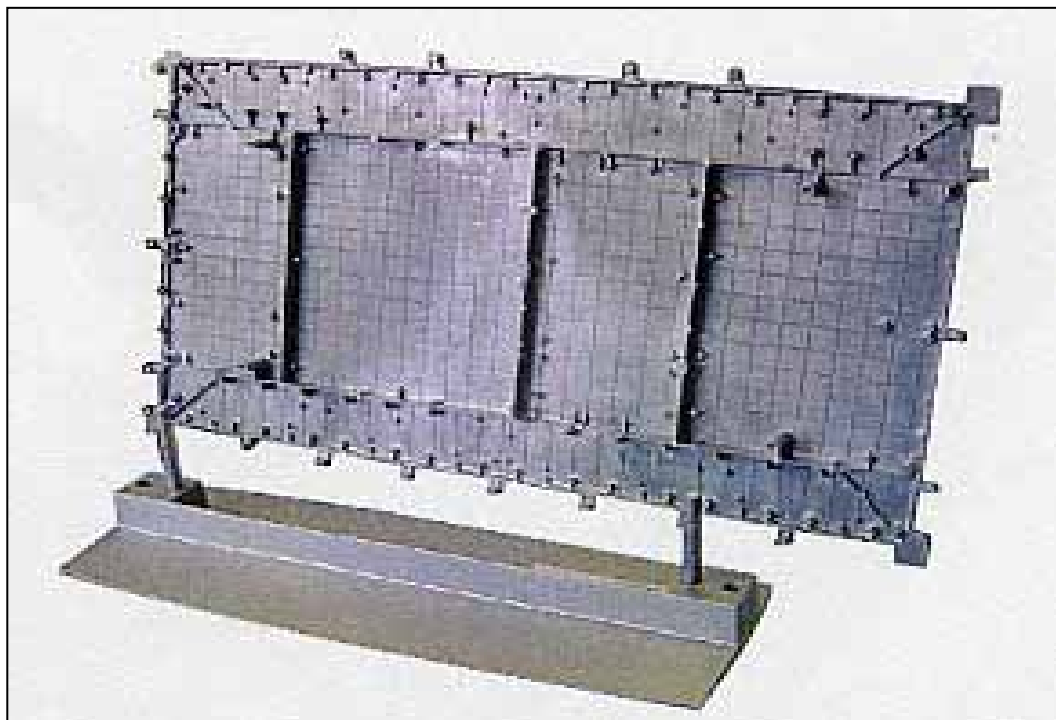
主な取組み

ダイカスト事業

自動車関連分野以外

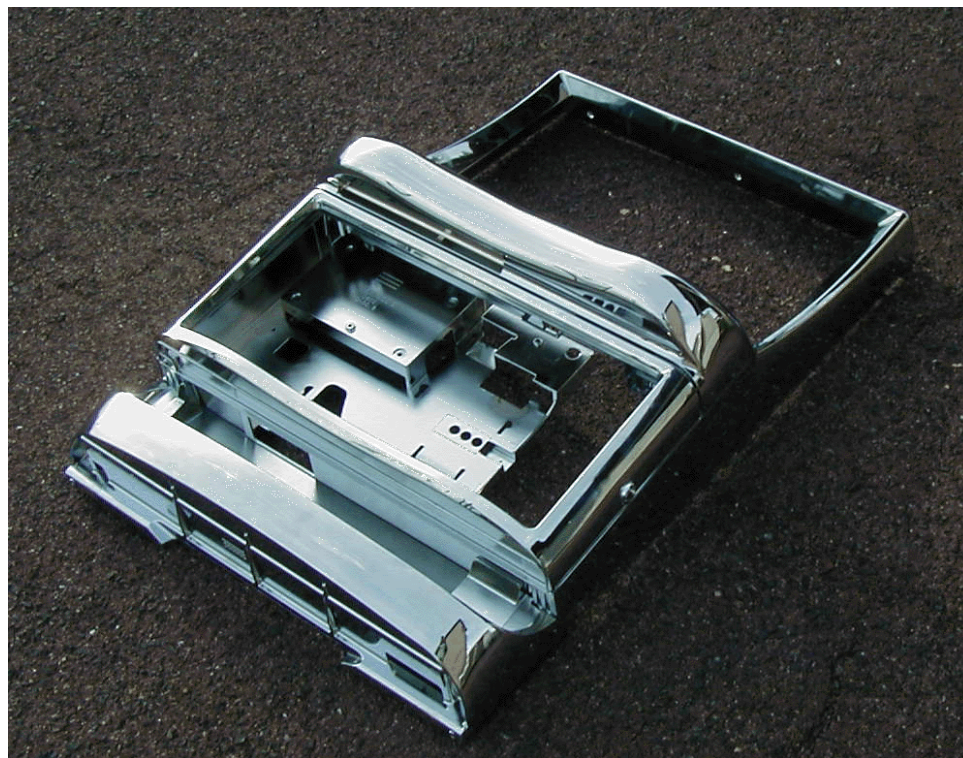
- ・電機・通信分野への拡販(高強度・薄肉品)
(PDP、プロジェクター、携帯電話等)
- ・リサイクル性を求める分野の需要開拓
(オフィス家具、遊戯機器等)

ダイカスト製品 < 電機・通信 >



プラズマテレビ(PDP) シャーシ

ダイカスト製品 <その他>



スロットマシーン 前面パネル

主な取組み

印刷機器事業

新商品開発、新市場開拓の強化

- ・顧客ニーズに合った商品開発
- ・製版市場、企画・デザイン市場への拡販

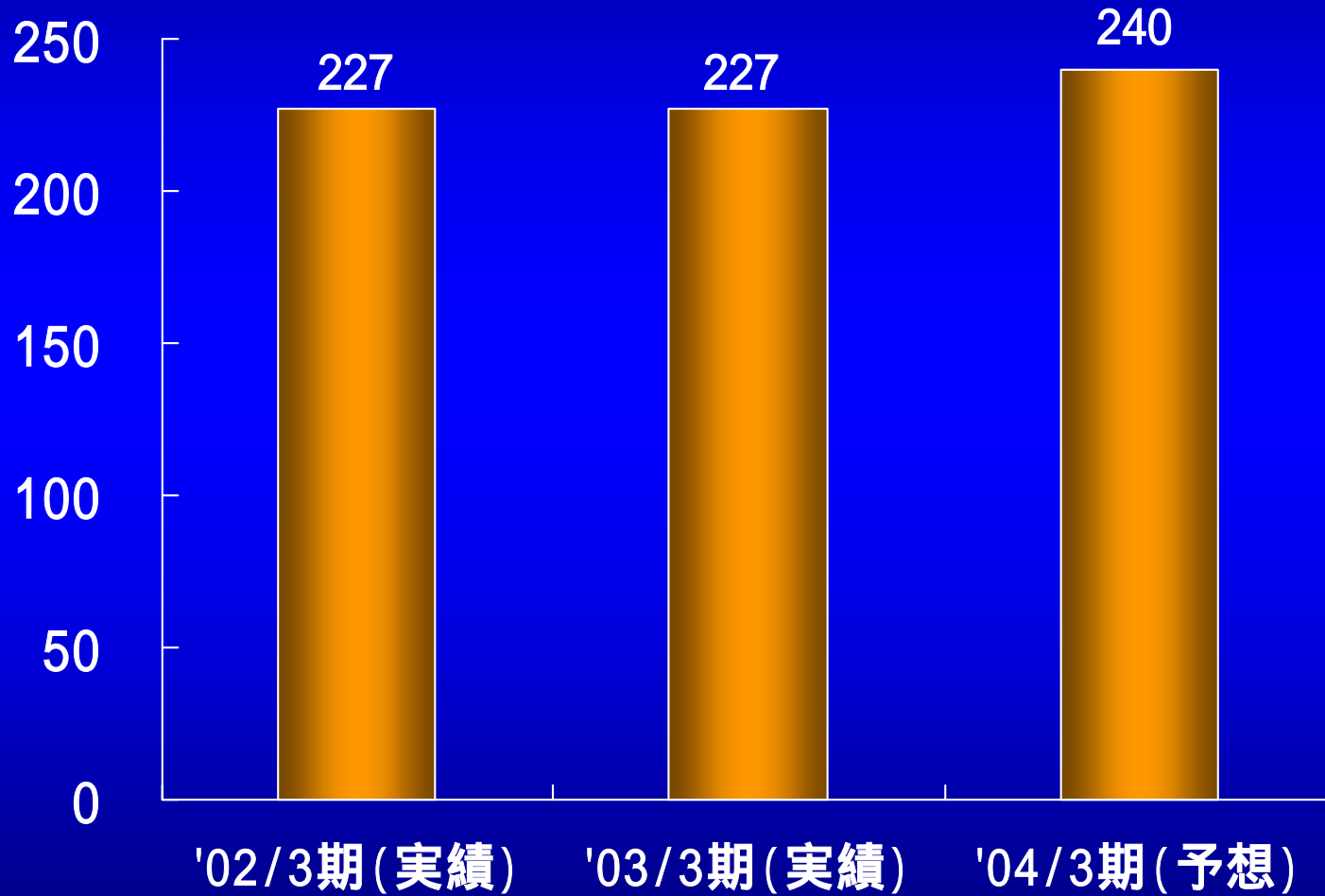
コストダウンの推進

- ・生産性の向上(トータルリードタイム短縮、業務改善等)
- ・部品・コンポーネントの原価低減(海外調達促進等)

グループ経営の強化

印刷機器事業の売上高

(億円)



主な新商品 < 中型印刷機 >



750シリーズ(反転装置付)



680シリーズ(コンパクトモデル)

主な新商品 < A3横通し印刷機 >



524HXP (反転装置付)

主な新商品 < デジタル印刷機 >



3404 DI デジタル印刷機
(UV乾燥装置付)

主な取組み

住建機器事業

電動工具・園芸用機器

商品の企画力、販売力の強化

<主な新商品>

ジグソー、ドライバドリル、インパクトドライバ、キワ切りカッタ等

製造力の強化による価格競争力の向上

中国の製造子会社の生産性向上に注力し、競争力を強化



ジグソー、ドライバドリル、インパクトドライバ



キワ切りカッタ KW-300D

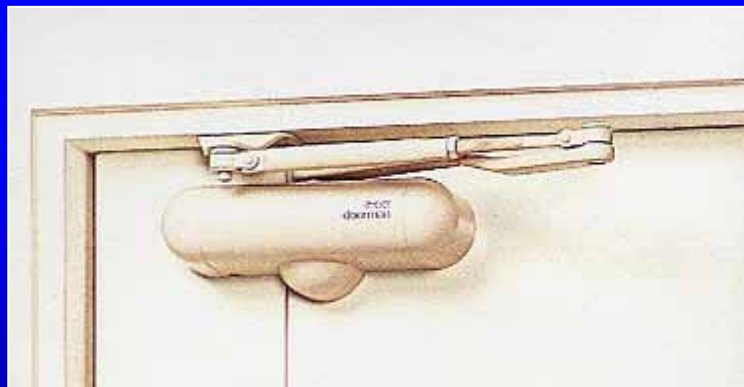
主な取組み

住建機器事業

建築用品

ドアクローザの拡販

製造力の強化による価格競争力の向上



ドアクローザ ドアマンシリーズ
(ロングライフデザイン賞受賞商品)



ドアクローザ D - 1650

企業理念

技術と信頼と挑戦で、

健全で活力にみちた企業を築く。

「くらしごこち」がテーマです。

RYOBI